

# ニュースレター (vol. 14)

平成27年 8月発行

NPO 法人あきた菜の花ネットワーク

〒015-0411 秋田県由利本荘市矢島町城内字八森下 466-3  
鳥海山麓地区総合案内所内

TEL : 0184-44-8625 FAX : 0184-44-8765  
E-mail : tetsu1187pure@yahoo.co.jp



暑さ厳しい毎日が続いておりますが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

事務局のある秋田県由利本荘市では6月よりまとまった降雨がなく、渇水対策本部が設置されています。鳥海高原周辺の畑を含め、作物にも影響が出てきています。渇水の状況は日ごとに深まっているようです。今後も雨が見込めないことが予想されるとのこと・・・水の大切さを考え、使用していきたいと思うこの頃です。

## ◎「第8回通常総会」開催

平成27年6月20日(土)、NPO 法人あきた菜の花ネットワーク 第8回通常総会を第一会館にて行いました。



理事長の挨拶のあと総会が始まり、平成26年度事業報告、収支決算報告及び監査報告、平成27年度事業計画(案)、活動予算(案)、役員補充について報告がありました。

また、総会後には研修会を行い、日向野三雄理事を進行役に石田哲治理事長との対談がありました。テーマは「菜の花で秋田を元気に・・・なぜネットワークの立ち上げを！」なぜか話が様々な話題へ脱線しては戻りと繰り返す中、最後は時間もピタリで終了。

鳥海山をバックに菜の花が咲く景色は宝だと理事長のお話の中にありました。この宝を維持していけるよう活動していきたいです。(総会資料をご希望の方は事務局へご連絡ください)



総会・研修会のあとは懇親会を行いました。普段はなかなか一堂に会することか出来ないため、会場の方に「そろそろよろしいでしょうか？」と声がかかるまで盛り上がりました!





## <ニュースレター新企画「この人に聞く！」（第13回）>

あきた菜の花ネットワークの事務局メンバーが、秋田を元気にするため日々奮闘している方からお話を伺い、先進的・独創的な取り組みやアイデアを学ぶと共に、会員の皆様にお伝えいたします。第13回目は、北秋田市在住の中嶋武さんです。

中嶋さんは、地元で長年、水道工事や土木工事を請け負う会社を営んできましたが、昨年から大規模な面積で（なんと7ha!）、菜の花栽培をスタートし、ネットワーク事務局を驚かせました。いまなぜ菜の花に取り組んだのか。そして今後どういった取り組みを行っていきたいのか。中嶋さんから縦横に語っていただきました。

### 「農業にこそ未来と希望がある！」：中嶋 武 さん

#### （有限会社中嶋施設工業 代表取締役）

○ネットワーク事務局（以下、事務局）：

まず、簡単に自己紹介をお願いします。

○中嶋武さん（以下、中嶋さん）：

北秋田市出身の61才で、上下水道工事や災害補修等の土木工事を行う会社を営んでいます。小中高と地元の学校に通い、高卒後は大阪の設備関係の会社に就職しました。3年後、父の体調不調を契機に秋田に戻り、父が営んでいた会社を手伝うことになり、現在に至ります。その後、会社も有限会社となり、私を含めて現在16名の社員がおります。ちなみに会社はもともと水道工事専門でしたが、牧草地整備（後述）で使っていた重機を活用できるので3年前から土木工事も始めました

○事務局：

秋田に根を下ろした人生を歩んできたんですね。ところで業務とは縁もゆかりもない菜の花になぜ取り組んだのですか。

○中嶋さん：

菜の花に取り組み始めたのは昨年からです。そこに至るまでに長い歴史があります。

以前、中嶋家では土木業を営みながら農業も行っていました。田も2haほどありました。しかし父が体を壊した後は農業に手が回らなくなり、農機具も処分し、田はその後30年間放ったらかしにしていました。

本題からずれるのですが、私は好奇心旺盛で沢山の趣味があります。ゴルフや釣りが大好きです。お酒も好きで12年前から山葡萄ワインを自分で造り、飲むようになりました。原料となる山葡萄も山

に入って採っていましたが、それも難しくなるだろうと考え、10年前に遊休状態にあった田を70aほど畑として復元し、山葡萄を植えました。

そして5年前、この葡萄畑の近くにあった牧草地と牛舎が競売に出されました。空き地にするのもったいないですし、整備すれば何かに使えると思い、購入しました。しかし、この土地は管理状態が良くなかったらしく、耕すたびに木の根っこやゴミ等が大量に出てきて、整備するのにとても難儀しました。整備後、毎年欠かさず土地の管理を行ってきましたが、昨年「そろそろやってみるか」と一念発起し、7haの面積に菜の花を植えて、他にもソバを播きました。本業とは切り離し、個人の取り組みとして始めました。

○事務局：

まさに「ゼロからの取り組み」ですね。

○中嶋さん：

実際に栽培を始めるとなると、もちろん投資が必要となります。いずれ周辺の畜産農家もリタイヤしますし、それらは耕作放棄地になりかねません。そうした土地を今後も引き受けて面積を拡大いくことも想定し、昨年はトラクター（畝立機・播種機セット）と汎用コンバイン、今年はマニアスプレッターを自己資金で購入しました。一度農地を整備してしまえば農機具さえあれば楽に農業を行うことができますし、実際にこの大面積の栽培・管理は私が雇っている方1名で行っています。私の本業は会社なので、彼に農作業の指示を出して、動いてもらっています。

○事務局：

初めて菜の花に取り組んでみていかがでしたか。

○中嶋さん：

昨年の7月後半から8月半ばにかけて7haの面積に菜の花を植えたのですが、その後の豪雨によって多くが流されてしまい、9月に入ってから蒔き直しを余儀なくされました。そして、運良く豪雨被害を免れた畑も、牧草地の後によく現れるというヨトウムシにやられました。4ha以上が秋のうちに食べられてしまったのです。ただ、蒔き直した残りの3ha弱は幸い無事だったので、今後収穫できると思います。収穫した菜種はエコサカさんに出荷しようと考えています。昨年取り組んだソバについては全量品質が3等で200kgの収穫がありました。

○事務局：

今後の取り組みについてはいかがですか。

○中嶋さん：

今年はもう一度菜の花とソバにチャレンジする予定です。菜の花はもう1haほど面積を拡げて合計8haで栽培を行うつもりです。

そして、この場所を拠点として面積を拡げ、菜の花栽培等の取り組みを軌道に乗せて、将来的には会社の一事業部門にしていきたいと考えています。まだハッキリとしたイメージはありませんが、ただ、会社の規約は既に改正し、会社として農業をやれるようにしました。春先、会社の土木部門は比較的暇になりますし、労力的には特に問題はありません。水道設備や土木も先細りなので、農業を取り入れることは会社の発展にも役立つと考えています。

○事務局：

どんどん夢が広がりますね。

○中嶋さん：

農機具も一式揃えましたしそれらを活用できる農地も畜産農家のリタイヤも相まって今後どんどん私たちに集まってくるでしょう。今は草刈りも機械でできますし、農業は体力のないお年寄りにもできます。少人数でも楽に農作業を行えるようにできるだけ機械化・省力化をすすめ、スケールメリットが生み出せるソバや菜種、大豆などに取り組んでいきたいと考えています。これらはいずれも助成金に依存しているという問題はありますが。

そして収穫できたものを自ら販売していける体制

を整備することも必要です。現在は収穫したソバは全量JAに販売していますが、JAは米を優先に扱っておりソバにせよ大豆にせよ、乾燥作業が後回しにされがちです。そこで今年乾燥機を導入し、乾燥・調製・販売を自ら行える条件を整える予定です。

○事務局：

ほかに何か取り組む予定はありますか。

○中嶋さん：

購入した牛舎を改造して、何か別の用途に活用したいですね。ちなみに5年前に購入した際、大量の堆肥が牛舎に残っており、それらの多くが現在もあります。それらも今後利用していきたいと考えています。また、山菜栽培にも取り組んでいきたいと考えています。例えば、ハウスで山菜を栽培し、1月くらいに出荷できればかなりの儲けが期待できます。廃材を活用しボイラーを炊いて、そのお湯をハウ스에流せば冬でも山菜を作ることができると思います。

他にも無農薬で様々な作物も作ってみたいですし、ヤマノイモにも本格的に取り組みたいです。現在は鶏も試験的に6羽飼育しています。失敗することもあります。元来好奇心が旺盛ですので、やりたいこと、思いついたことには何事にも積極的にチャレンジしていきたいと考えています。

○事務局：

本日は本当にありがとうございました。

☆☆☆【事務局所感】お話を伺って☆☆☆

・中嶋さんの取り組みから秋田県農業の未来の姿を垣間見ました。今後どんどん遊休農地が増える中で、そうした農地を維持・保全していくには、大規模な面積を耕作できる主体とそれを可能とする農機具が必要です。それを実践しているのが、農業者としては「素人」である中嶋さんです。農外に長年身を置き、でも秋田に深い愛着を持っている。そうした方々が今後の秋田県農業・農村を支えるキーマンになるのかもしれないと感じました。(渡部岳陽)

・昨年菜種種子を発送してから約1年。北秋田の青空の下に菜の花が広がっていました。菜の花から始まる、とよく使いますが、こうしてどんどん広がっていくのだと実感した光景でした。(鈴木加代子)

◎「第6回鳥海高原菜の花まつり」開催（会場：由利本荘市矢島町桃野・南由利原）



平成 27 年 5 月 26 日（火）～6 月 4 日（木）（イベント日は平成 27 年 5 月 30 日（土）、5 月 31 日（日）のみ）第 6 回鳥海高原菜の花まつりを開催しました。

今年の由利本荘市は積雪の量も少なく、春先に暖かい日が続いたため、菜の花の開花が例年より 2 週間ほど早く咲きはじめました。イベント開催日の 5/30、31 まで



もって欲しいという願いもかなわず、満開のピークを過ぎての開催となってしまいました。また菜の花まつりイベント開催日両日と、



秋田市内で行われた大型イベントと日程も重なってしまい、例年より来場者が少ない菜の花まつりとなってしまいました。自然相手の部分もありますが、日程に



関しては天候をみて柔軟に対応できるように検討していきたいと、大きな課題

が見えた年となりました。

ご来場いただきました皆様、大変ありがとうございました。また来年、鳥海高原にてお待ちしております！



<編集後記>

○今年は例年になく雨が少なかった分、菜種収穫にはとても良い気候だったかと思います。皆様の収穫量のご報告（「10a でこれだけ獲れたよ！」）をお待ちしています（渡部岳陽）。

○毎日暑い日々が続きますが、皆様体調を崩されていませんか？恥ずかしながら先日軽い熱中症のようになってしまい、体に力の入らない日が続いていました。（現在は復活しております！）熱中症対策は心がけていましたが、何かひとつしていれば大丈夫という訳ではないようです。二重三重の対策でこの暑さを乗り切りたいと思います。（鈴木加代子）。